

## 総会・研修会報告

事務局 小西 敢

### 第39回日本白鳥の会研修会

日本白鳥の会第39回研修会『福島県猪苗代湖大会』は、平成27年3月7日に理事会の後の午後2時から開催されました。今回の研修会・総会の開催に当たっては、地元の猪苗代町をはじめ、福島県の鬼多見賢理事と佐久間拓城理事、猪苗代町の自然を守る会のご協力をいただきました。

最初に藤巻会長から、猪苗代湖での開催は2回目となり、福島県でも3回目で今回の研修会は、発表が多く翌日の現地研修会も楽しみだとの開催の挨拶がありました。会長あいさつが終わり、事務局の小西の進行で研修会が始まりました。

研修会の発表・報告は以下のとおりです。

1. 実現した絶滅危惧種シジュウカラガンの個体復帰  
谷岡 隆（北海道）【副会長】
2. 日本白鳥の会のリニューアルについて  
小西 敢（北海道）【事務局】
3. ハクチョウに見られた『目のふくらみ』について  
望月 明義（長野県）【顧問】
4. 新潟市の写真コンテストについて  
小原 王明（新潟県）
5. 白鳥の生態を追う swan in japan vol.8 ～『白鳥生態写鑑』製作中の知見から～  
角田 分（山形県）【理事】
6. 岐阜で越冬するハクチョウ類  
山崎 歩（滋賀県）【理事】
7. 夏井川の白鳥について  
安藤 哲夫（福島県）【夏井川の白鳥を守る会事務局】
8. 猪苗代湖について  
鬼多見 賢（福島県）【理事】

最初に北海道の谷岡副会長により、国内で絶滅に瀕していたシジュウカラガンが、ロシアの研究者と日本の雁を保護する会との長年の共同事業によって、飼育したシジュウカラガンを日本に渡るヒシクイと共に放鳥して、日本に渡るシジュウカラガンの個体群の回復につながったと紹介があり、ロシアでの飼育等の写真を交えて発表されま

した。次に事務局から、会のホームページがリニューアルされた事の説明と会員のアイデアを募集したいと報告しました。

3番目の発表は、長野県の望月顧問から、白鳥の目の瞬膜に液体が溜まり膨らむ症例が報告されました。目の膨らみは、瞬膜の部分が膨張し、突然に元へ戻る事もあり、原因を探しているとの説明がありました。詳しい発表内容は、本会報へ掲載しました。

4番目は、新潟県の小原氏から、新潟市で開催される白鳥写真コンテストについての説明があり、会員のみなさんに募集の案内を送る事となりました。

5番目は、角田理事による「ハクチョウの生態を追う vol. 8」の発表。40年の観察で解かって来た生態などを「生態写鑑」として制作として取り組んでいる事と識別方法や行動について紹介がありました。

6番目は、山崎理事による岐阜で越冬するハクチョウ類について、発表がありました。詳しい内容については、本会報へ掲載しました。

7番目は、夏井川の白鳥を守る会の安藤事務局長による発表で、1980年から夏井川に飛来してきたハクチョウの話やピーク時には、800羽を超えていた話や震災後の状況について紹介されました。

最後の発表は、福島県の鬼多見理事の発表で、猪苗代湖に飛来したハクチョウの歴史や天然記念物に指定されている地域の事、越夏しているコハクチョウの繁殖行動や5,000羽を超えるハクチョウが飛来していた事など、猪苗代湖と飛来するハクチョウについて詳しい発表がありました。3時間半にわたった研修会は、活発な質疑応答も行われ、盛会となりました。

研修会終了後、会場となったホテルみなとやで、18:00から夕食をかねた懇親会が行われました。懇親会は、鬼多見理事の挨拶で始まり、美味しい福島の幸をいただきながら懇談が続きました。最後は福島県の佐久間理事の万歳で、一次会が終了しました。その後、ホテルの一室を二次会会場とし夜中まで交流がおこなわれました。翌8日には、総会終了後、貸切バスを利用し出発。天然記念物に指定されている志田浜のハクチョウを観察し、その後、湖岸沿いの道路を通って、湖に広く分散しているハクチョウのポイントを見学した。雪が少なく水田に入っている姿も見られた。最後に鬼多見理事の自宅の畑に集まるハクチョウを観察。鬼多見理事の説明を聞きながら、その後、畑を横切り、湖岸に出て。現地観察会終了後、野口英世記念館に近い「味の関所 三城」で、たいへん美味しい猪苗代御蕎麦と磐梯力餅、ごつゆなどの郷土料理をご馳走になりました。

## 第43回日本白鳥の会総会

第43回日本白鳥の会総会は、3月8日(日)にホテルみなとやで行われました。

会長挨拶の後、福島県の鬼多見理事を議長に選出し、議事次第にしたがって、平成25年度収支決算、平成26年度予算、平成26年度収支決算中間報告、平成26年度事業について報告しました。監事が欠席のため、平成25年度決算監査報告については、押印された監査報告書を添付し、決算・事業報告について承認されました。

次に報告として、ホームページのリニューアルが終わり、新しいサイトが立ち上がったため、会員の意見を取り入れながら、谷岡副会長が担当となり、更新していく事を説明しました。ハクチョウ類重要越冬地100選については、角田理事が中心となり、事業を進めている事を報告し、選定候補の提案と会員に追加の募集をする事が決まりました。報告に続いて平成27年度の暫定予算案、平成27年度の事業計画について審議され、予算、事業計画とも承認されました。また、次回研修会は、千葉県で行われる事が決定しました。次年度は、役員改選の年にあたり、会長選出のためのブロック推薦に次の選考委員が決定されました。北海道：谷岡氏、東北：角田氏、関東：菊池氏、中部：花岡氏、関西中国：吉岡氏。また、理事の推薦等は事務局へ連絡する事が伝えられました。次回以降の総会・研修会開催地の候補として、平成28年度は、宮城県があがり、堺理事より地元に戻って調整するとの話がありました。平成29年度は、石川県があげられ、地元理事と連絡をとりながら調整することとなりました。

### 総会・研修会の参加者

藤巻裕蔵, 谷岡隆, 小西敢, 角田分, 堺博, 安藤哲夫, 佐藤博行, 鬼多見賢, 佐久間拓城, 鈴木賢昭, 小原王明, 小曾納久男, 小曾納友子, 菊池昶史, 並木光二郎, 並木久美子, 柿澤佳子, 神山和夫, 遠山敏子, 望月明義, 望月和子, 会田仁, 山本和治, 花岡幸一, 吉岡一成, 吉岡美佐子, 大川節夫, 正野武司, 正野美智子, 奥田伝右衛門, 奥田ゆり子, 山本由次郎, 山本絹代, 山崎歩, 吉岡弘道, 村本正治, 村本禎子

## 平成25年度 収支決算報告書

日本白鳥の会

## 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
会 費 収 入	468,000	302,000	会費
会費外収入	10,000	28,000	寄付
会誌収入	10,000	6,000	会誌販売
雑収入	30,000	6,006	預金利息・バッチ代
前年度繰越金	89,713	89,713	
合 計	607,713	431,719	

## 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
事務局費	95,000	60,000	総会旅費・事務局費
印刷事務費	100,000	109,750	会誌印刷・編集費
運賃通信費	51,000	27,920	会誌送付・事務連絡等
消耗品費	10,000	396	事務用品
国際湿地保全連合日本委員会負担金	20,000	20,000	H24年度分
会議費	50,000	7,417	総会会場費
HP維持管理費	157,500	102,900	
振込み手数料	1,500	1,155	
予備費	122,713	7,938	弔電代
合 計	607,713	337,476	

(収入の部)

(支出の部)

431,719円 - 337,476円 = 94,243円

94,243円は平成26年度へ繰越し

## 会計監査

会計監査の結果、正に相違ないことを認めます。

監事

芳賀 孝行 ㊟

山崎 安紀 ㊟

平成27年 3月 2日

## 平成26年度 収支決算中間報告書

日本白鳥の会

## 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
会費収入	405,000	256,000	会費
会費外収入	10,000	12,500	寄付
会誌収入	6,000	2,000	会誌販売
雑収入	1,000	3	預金利息・パッチ代
前年度繰越金	94,243	94,243	
合計	516,243	364,746	

## 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
事務局費	95,000	50,000	総会旅費・事務局費
印刷事務費	100,000	89,240	会誌印刷・編集費
通信運搬費	34,420	24,476	事務連絡・定点等
消耗品費	5,000	1,264	事務用品
国際湿地保全連合日本委員会負担金	20,000	20,000	H25年度分
会議費	50,000	0	
振込み手数料	1,500	1,188	
HP維持管理費	110,000	113,936	
予備費	100,323	0	
合計	516,243	300,104	

(収入の部)

(支出の部)

330,746円 - 300,104円 = 64,642円

64,642円は平成27年度へ繰越し予定

## 平成26年度事業報告

日本白鳥の会

- 平成26年 3月 6日 福島県猪苗代町及び鬼多見氏と平成26年総会協議  
6月 5日 HP更新・長野大会写真掲載  
6月30日 白鳥だより発行・事務連絡・会報原稿依頼・  
越冬地100選依頼、会費納入等送付  
9月29日 福島県猪苗代町と総会・研修会協議  
11月11日 会報「日本の白鳥38号」発送・越冬地100選依頼  
総会日程通知・会費納入通知
- 平成27年 1月13日 会員へ総会案内送付  
2月28日 新しいHPの更新  
3月 7～  
8日 第43回総会・第39回研修会福島県猪苗代大会

## 平成 27 年度 暫定予算書 (案)

日本白鳥の会

## 収入の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	予 算 額	内 訳
会 費 収 入	405,000	363,000	H27 年度会費 3,000 円×88 名 ----- H26 年度までの未納 3,000 円×33 名
会費外収入	10,000	10,000	寄付等
会誌収入	6,000	3,000	
雑収入	1,000	1,000	預金利息・バッチ代等
前年度繰越金	94,243	64,642	
合 計	516,243	441,642	

## 支出の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	予 算 額	内 訳
事務局費	95,000	50,000	総会旅費・事務局費
印刷事務費	100,000	100,000	会誌印刷・編集費
通信運搬費	34,420	41,600	会誌送付代 @180 円×100 名=18,000 ----- 事務連絡 @92 円×100 名×2 回=18,400 ----- 研修会出欠ハガキ @52 円×100 名 = 5,200
消耗品費	5,000	2,000	封筒・宛名ラベル等
国際湿地保全連合日本委員会会費	20,000	20,000	年会費
会 議 費	50,000	30,000	研修会・総会
振込み手数料	1,500	1,500	
H P 管理費	110,000	110,000	
予 備 費	100,323	86,542	
合 計	516,243	441,642	

## 平成27年度事業計画

日本白鳥の会

本年度の事業計画は、日本白鳥の会の活動の3本柱である「研修会」「白鳥類定時定点調査」「会報の発行」の事業を実施し、HPやメーリングリスト等の充実を図り、新会員の増加を目指します。

1. 研修会の開催
2. 定時定点調査の実施
3. ニュースレター「白鳥だより」の発行・会報「日本の白鳥No.39号」の発行
4. HP・メーリングリスト等の充実
5. その他



## &lt;資料&gt;

## 日本白鳥の会研修会開催期日・開催地

第20回	1996(平成8)年4月	北海道稚内市・浜頓別町
第21回	1997(平成9)年	宮城県蔵王町
第22回	1998(平成10)年3月7日	北海道伊達市
第23回	1999(平成11)年1月30日	鳥取県米子市米子水鳥公園
第24回	1999(平成12)年3月4日	青森県下田町間木堤
第25回	2001(平成13)年1月20日	福島県福島市岡部あぶくま親水公園
第26回	2001(平成13)年12月2日	滋賀県湖北町琵琶湖
第27回	2003(平成15)年4月19日	北海道浜頓別町クッチャロ湖
第28回	2004(平成16)年2月14日	茨城県潮来市北浦・水戸市
第29回	2005(平成17)年2月12日	長野県豊科町犀川
第30回	2006(平成18)年3月4日	青森県平内町浅所
第31回	2007(平成19)年2月10日	新潟県佐潟
第32回	2008(平成20)年3月22日	秋田県横手市十文字町
第33回	2009(平成21)年3月14日	北海道厚岸町
第34回	2010(平成22)年1月23日	山形県酒田市・最上川スワンパーク
第35回	2011(平成23)年4月9日	北海道苫小牧市ウトナイ湖
第36回	2012(平成24)年1月28日	島根県出雲市宍道湖
第37回	2013(平成25)年1月19日	滋賀県草津市琵琶湖
第38回	2014(平成26)年3月1日	長野県安曇野市犀川
第39回	2015(平成27)年3月7日	福島県猪苗代湖